

土浦市の家計簿

財政事情の公表

平成19年度土浦市歳入歳出決算書を議会の認定を受けるため、9月議会に上程しましたので、平成19年度の決算概要についてお知らせします。また、平成20年度9月末現在の予算の収支状況を併せてお知らせします。

☎ 財政課 (☎826-1111 内線2451)

平成19年度各会計の決算状況

一般会計

一般会計の決算額は、歳入466億4523万円、歳出451億6336万円です。差し引き4億8187万円のうち、2億879万円の翌年度に繰り越された事業に充てられる財源で、実質収支額12億7308万円となりました。

特別会計

公共用地先行取得、駐車場、国民健康保険、老人保健、介護保険、下水道、公設地方卸売市場、農業集落排水、平成19年度から新たに加わった土浦駅前北地区市街地再開発の10事業の特別会計があります。

特別会計全体の決算額は、歳入397億2076万円、歳出395億3688万円です。差し引き1億8388万円のうち、6974万円は翌年度に繰り越された事業に充てられる財源で、実質1億1414万円の黒字となりました。

各種事業概要

総務費

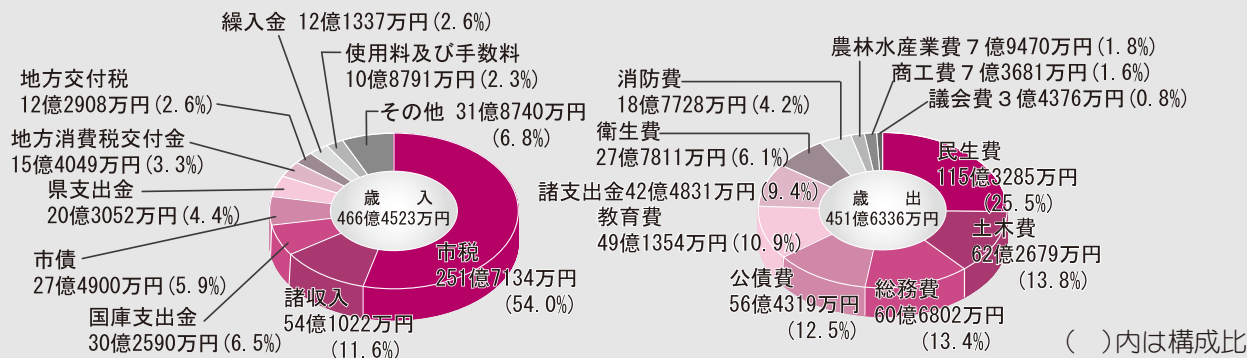
●平成20年度から10年間の総合的な市政運営の指針となる「第7次総合計画」を策定しました。

●地域コミュニティ活動の拠点となる地域公民館や集会施設の新築などに対して補助するなど、自治意識の醸成を図りました。

●新治地区の避難所となる小・中学校に防災倉庫および備蓄品を配備するなど、安心・安全なまちづくりを推進しました。

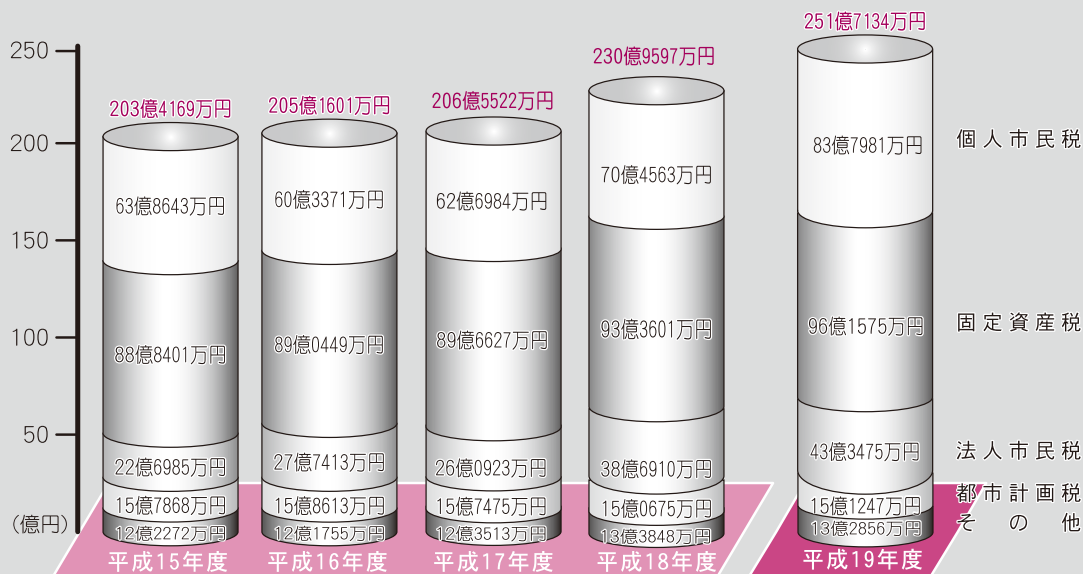
●滞納者所有の車への差し押え措置となるタイヤロックや不動産の差し押え・公売を実施するなど、

一般会計の決算



市民の負担状況	市税負担額	行政経費		
		一般会計	特別会計	合計
市民1人当たり	17万5346円	31万4613円	27万5419円	59万0032円
1世帯当たり	45万6474円	81万9023円	71万6988円	153万6011円

※人口：14万3552人、世帯数：5万5143世帯（平成20年4月1日現在）



市税収入の推移

収納率の向上に努めました。

民生費

●住民・地域・行政の協働による地域福祉を推進するための指針となる「あたたかい ふれあいのある まちづくり」を基本理念とする地域福祉計画を策定しました。

●聴覚障害者の生活支援のため、手話通訳者の市役所への配置や要約筆記者の派遣などにより社会参加の促進を図りました。

●「ねんりんピック茨城2007」において、本市で剣道交流大会が開催され、名物料理を提供する「もてなし交流広場」や「ふれあいテント村」、高齢者の作品展など、さまざまな交流と市のPRを図りました。

●新治支所への自動ドアや国民宿舎「水郷」の障害者トイレへのオストメイト設置、小・中学校トイレ改修など、バリアフリー化の普及を推進しました。



ねんりんピック茨城2007 剣道交流大会

●療育支援センターつくし作業所利用者の施設外活動送迎車両を、環境にやさしいひまわり油バイオディーゼル燃料を使用できる車両に更新し、新エネルギーの普及啓発を図りました。

衛生費

●平成20年度からの特定保健指導の義務付けに先立ち、メタボリックシンドローム教室を開催し、

生活習慣病の改善と普及啓蒙を図りました。

●市役所も一事業所として土浦地区のISO14001を新治地区まで拡大し、学校を除く全市域の公共施設での認証を取得するとともに、土浦消防署や神立保育所に生ごみ処理機を導入するなど、率先して環境保全活動を推進しました。

農林水産業費

●地元生産の米を原料とした米粉パンの試作品を学校給食で試食するなど地産地消への取り組みを推進するとともに、いばらきのうまい果物産地総合推進対策事業およびいばらきの野菜産地強化推進事業における機械整備に補助をするなど、産地の生産性強化に努めました。また、減化学肥料、減農薬による環境にやさしい「れんこん」の栽培方法の検証を進めました。

●むらづくり交付金事業による新治地区のため池改修工事や農道整備のための実施設計を行い、地域ぐるみで農地や水路を守るための活動組織に対し支援し、農村環境の向上を図りました。

商工費

●工業団地などへの企業誘致事業として、固定資産税相当額の奨励金を交付することにより、5社の企業が進出し、雇用の拡大や地域経済の活性化が期待されます。また、商工会議所が実施したプレミアム付商品券発行を支援し、地元商業の振興と個人消費の喚起に大きな役割を果たしました。

●カレーフェスティバルの開催など食のまちづくり事業を推進するとともに、本格運行となったまちづくり活性化バス「キラウちゃん」の運行支援など、中心市街地の活性化に向けた各種事業を展開しました。

●霞ヶ浦や筑波山麓の豊かな自然をはじめ、歴史・文化などの地域資源を生かした観光施策の指針となる観光基本計画策定のためのアンケート調査や観光業務に携わる有識者を含めた策定委員会を開催しました。また、老朽化した国民宿舎「水郷」の経営診断を実施し、有識者による検討委員会を立ち上げ、今後のあり方を協議検討しました。

●全国花火競技大会については、観客の安全確保と打ち上げ現場での安全対策と、大会運営に万全を期するとともに、観客80万人を魅了させる「土浦花火づくし」の内容を充実させるなど、盛大な催しとして成功を収めることができました。

土木費

●拡幅改良、舗装および交通安全施設工事などを実施するとともに、橋梁の整備では、東崎町地内の新川に架かる人道橋の測量や踏切整備においても摩利山新田地内の測量を実施するなど、市民生活の利便の向上を図りました。また、新治地区との一体的なまちづくりを進める上で重要な路線である虫掛・藤沢間の市道整備を行うため、道整備交付金を活用した基礎調査を実施しました。

●総合交通体系の方針などを踏まえ、都市計画道路の優先整備5路線の整備方策を検討しました。

●既存建築物の耐震診断と耐震改修を促進するための計画を策定し、併せて地震ハザードマップを公表しました。

●神立駅西口地区における駅前広場や神立停車場線の整備を図る土地区画整理事業の想定換地計画を策定し、関係権利者の説明と意向調査を行い、事業化の推進を図りました。

●広域的なアクセスの向上を図る新たな南北軸の幹線道路の整備を目指し、朝日トンネル工事の本格着工に向け、詳細設計および地質調査を実施し

ました。

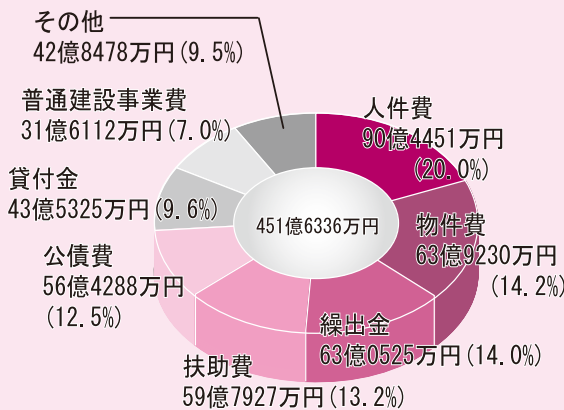
消防費

●災害対応特殊35m級はしご車や高規格救急車の更新など、消防力の充実強化とすべての小学校と消防署など24か所にAEDを配備することともに、救命講習の実施により、市民生活の安全を確保しました。

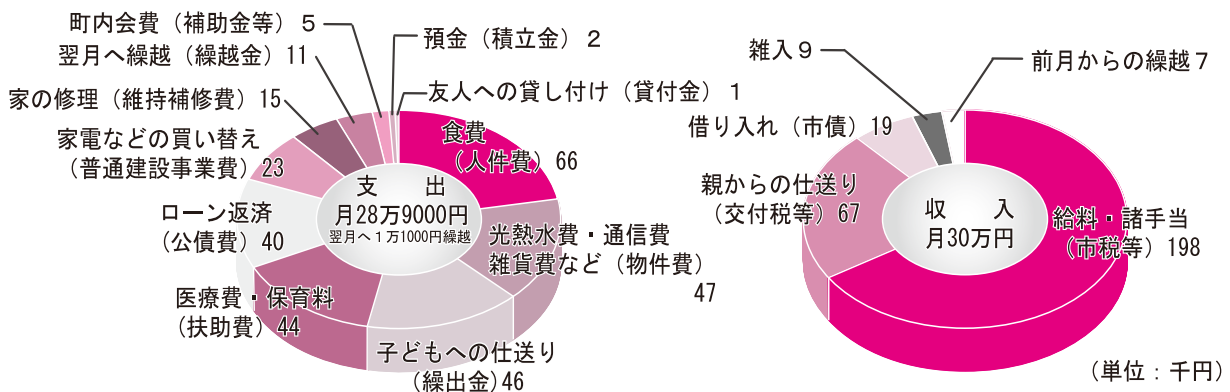
教育費

●荒川沖小学校、大岩田小学校および土浦第二中学校の耐震診断調査や上天津西小学校校舎耐震補強および大規模改造工事、さらに土浦第三中学校柔剣道場改築事業を進め、安全性の確保を図るとともに、土浦小学校の改築事業のための敷地測量の実施など、良好な学習環境の整備に向けた取り組みを推進しました。

一般会計性質別決算



土浦市の一年間の歳入を月30万円の収入がある家計に例えると



※市の年間決算額を一月の家計におきかえてみましたが、単純比較は困難ですので、あくまで目安としてください。
 ※借換債、公社貸付、廃止基金については、歳入・歳出から除いています。

特 別 会 計 の 決 算			
会 計 名	歳 入	左のうち一般会計繰入金	歳 出
公共用地先行取得事業	14億2496万円	9 億7096万円	14億2496万円
駐 車 場 事 業	3 億7596万円	1 億6360万円	3 億7587万円
国民健康保険	144億2301万円	10億3037万円	144億0844万円
老 人 保 健	96億3828万円	8 億2500万円	96億3690万円
介 護 保 険	64億5538万円	9 億2900万円	63億6493万円
下 水 道 事 業	66億3676万円	21億3300万円	65億9654万円
公設地方卸売市場事業	2 億9883万円	1 億1500万円	2 億9558万円
農業集落排水事業	3 億4140万円	4700万円	3 億4104万円
土浦駅前北地区市街地再開発事業	1 億2618万円	8800万円	9262万円
計	397億2076万円	63億0193万円	395億3688万円

企業会計(水道事業)の決算			
損 益 計 算 書 (事業の管理・運営に関する収支(消費税抜き))			
収 入		支 出	
水道料金収入	35億7921万円	県への支払い水道料金	16億0310万円
		施設の維持管理・給水・料金徴収等費用	5 億8177万円
		企業債利息	2 億7815万円
		減価償却費等	6 億4079万円
その他の収入		計	31億0381万円
計	36億2024万円	純 利 益	5 億1643万円

貸 借 対 照 表			
資 産		負 債	
固 定 資 産 (土地・建物・構築物等)	192億5050万円	固定負債(修繕引当金)	1 億7733万円
		流動負債(未払金等)	5 億7821万円
		負 債 計	7 億5554万円
流 動 資 産 (現金・未収金等)	32億7056万円	資 本	
		資本金(自己資本・借入資本)	172億3069万円
		剰余金(加入金・受贈財産・財調積立金・未処分利益剰余金等)	45億9351万円
繰 延 勘 定 (開 発 費)	5868万円	資 本 計	218億2420万円
		資 産 計	225億7974万円
	225億7974万円	負債・資本 計	225億7974万円

資 本 的 収 支 (施設の建設・改良などに関する収支(消費税抜き))			
収 入		支 出	
企業債	14億2320万円	配水管などの建設・改良費用等	10億2724万円
加 入 金	1 億2044万円		
その他の収入	761万円		
計	15億5125万円	企業債元金償還金	13億5814万円
収 支 不 足 額	8 億3413万円	計	23億8538万円

※収支不足額は、損益勘定留保資金、減価積立金で補てんしました。

地 方 債 の 状 況	
区 分	現 在 高
一 般 会 計	413億2755万円
特 別 会 計	353億9547万円
下 水 道 事 業	299億7514万円
駐 車 場 事 業	24億2174万円
公共用地先行取得事業	22億2263万円
公設地方卸売市場事業	3億2948万円
農業集落排水事業	4億2828万円
土浦駅前北地区市街地再開発事業	1820万円
企業会計(水道事業)	81億0080万円
計	848億2382万円 (対前年度△4.1%)
平成18年度末現在高	884億4502万円

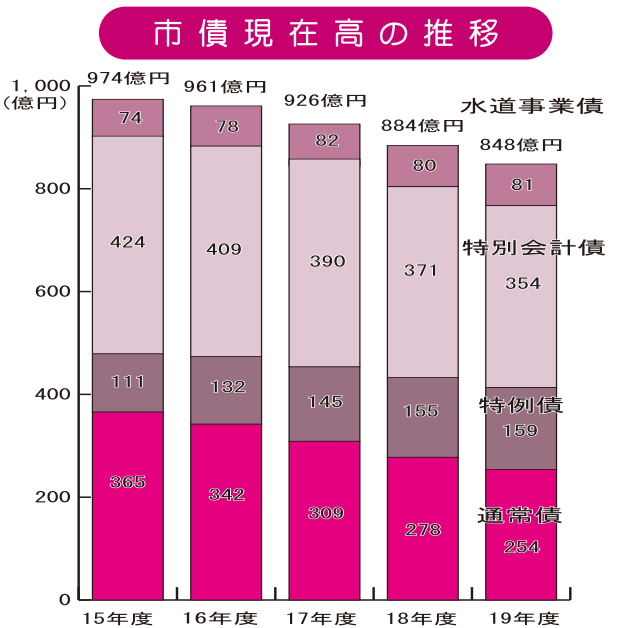
● 中学一年生を対象に宿泊体験学習を実施し、集団宿泊などの共同生活を通して豊かな人間性や社会性を育むことができました。

● 博物館南側に隣接するガソリンスタンド跡地をバスの利用が可能な駐車場として整備し、博物館の来館者や亀城公園、亀城プラザ、まちかど蔵などの来客者の利便性の向上が図れました。

● 博物館常設展示室を改装し、地域の歴史文化のより一層の理解と振興を図りました。

● 第17回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会は、1万4104人のエントリーのもとで開催され、テレビドラマの舞台となるなど、市民マラソン大会で全国4位の人気を誇るまでに成長しました。

市 有 財 産 の 状 況		
土 地		361万5437.83㎡
建 物		43万6000.52㎡
山 林		2万5890.00㎡
車 両		345台
有 価 証 券		1146万円
出 資 に よ る 権 利		4億0706万円
基 金	財 政 調 整 基 金	49億6082万円
	土 地 開 発 基 金	24億4161万円
	用 品 調 達 基 金	350万円
	文 化 振 興 基 金	2億8755万円
	奨 学 基 金	430万円
	高 額 療 養 費 貸 付 基 金	2000万円
	公 共 施 設 整 備 基 金	基金廃止し、財政調整基金へ積立
	庁 舎 建 設 基 金	42億1272万円
	市 債 管 理 基 金	19億5531万円
	社 会 福 祉 事 業 基 金	6億6445万円
	ま ち づ くり 推 進 基 金	基金廃止し、財政調整基金へ積立
	緑 化 基 金	基金廃止し、財政調整基金へ積立
	国民健康保険出産費資金貸付	351万円
債 権	介護給付費準備基金	7億4402万円
	公 社 対 策 基 金	9億0051万円
債 権 計		3464万円

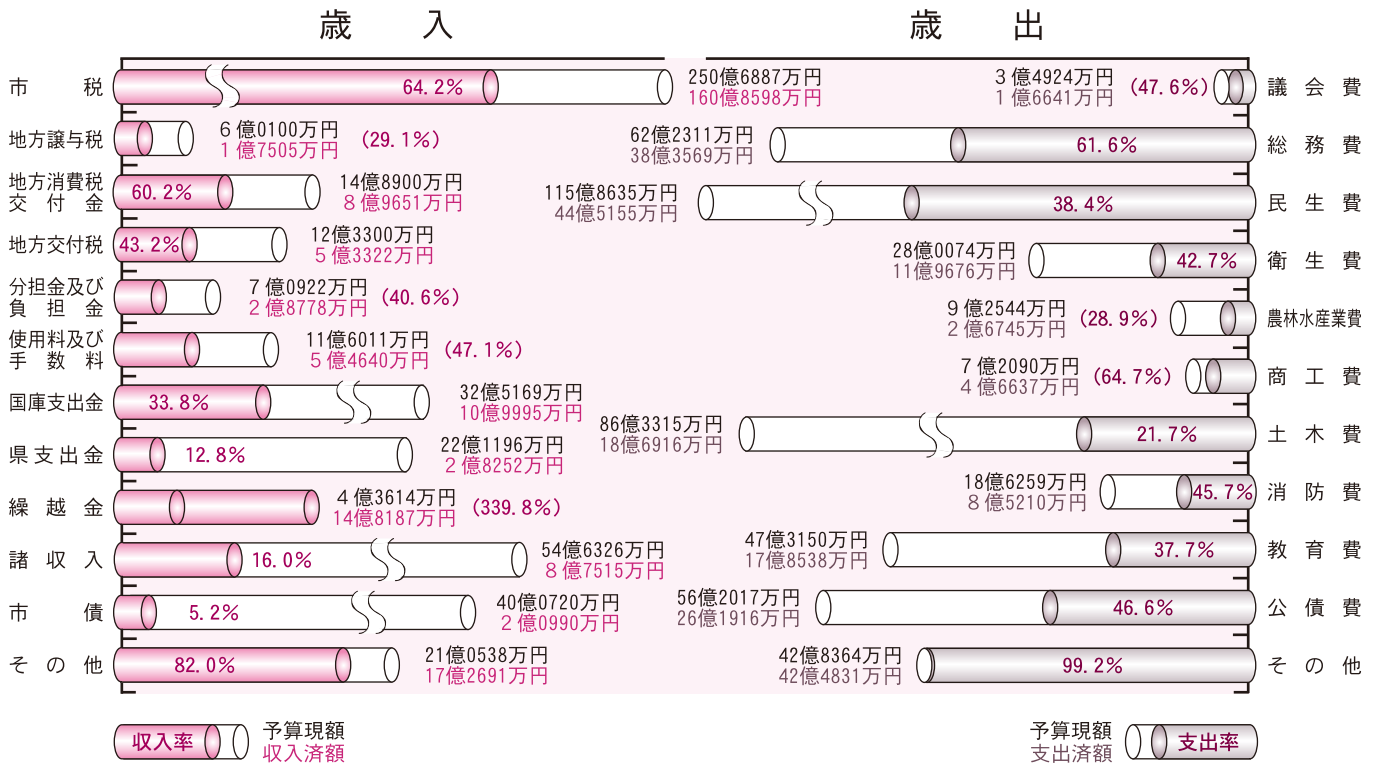


平成20年度上半期 財政状況を公表します

(平成20年9月30日現在)

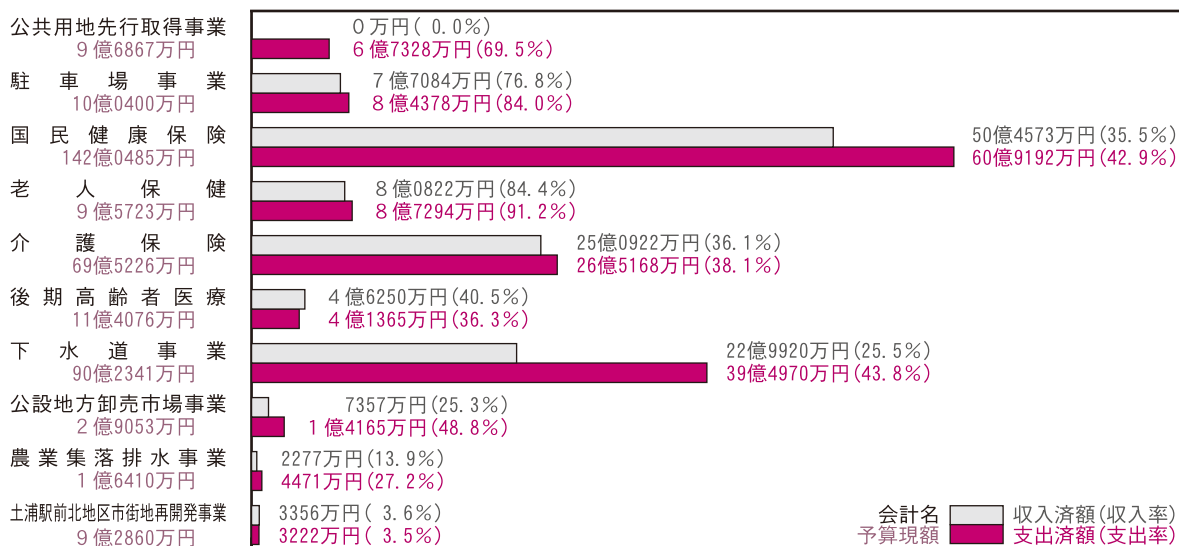
一般会計予算現額 477億3683万円

収入済額 242億0124万円(収入率50.7%)、支出済額 217億5834万円(支出率45.6%)



特別会計予算現額 356億3441万円

収入済額 120億2561万円(収入率33.7%)、支出済額 157億1553万円(支出率44.1%)



<水道事業会計予算の執行状況>

収益的収支	予算現額	収入・支出済額	執行率
収 入	37億5663万円	15億6480万円	41.7%
支 出	33億5137万円	10億6769万円	31.9%

資本的収支	予算現額	収入・支出済額	執行率
収 入	9億7280万円	7168万円	7.4%
支 出	20億2622万円	3億6129万円	17.8%

※収益的収支…事業の管理・運営に関する収入および支出(消費税込み)
 資本的収支…施設の建設・改良などに関する収入および支出(消費税込み)
 資本的収支の支出に対する収入の不足額は、損益勘定留保資金などで補てんします。